

幼児の服装について (3)

東京女子高等師範學校教授

成田順

前二月號には幼児服の胴及び袖の原型について記しましたが、今回は衿ぐりの形・衿の裁方について説明致します。

衿ぐりの大きさま形

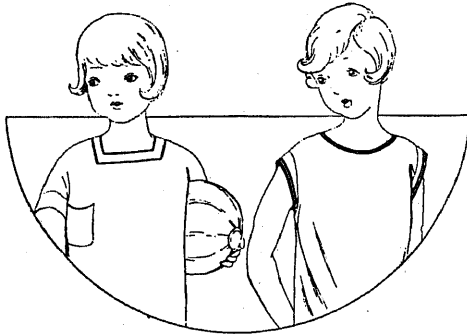
前號四九頁注意の所で衿ぐりの大きさを適當に斟酌する様述べましたが、これは用ひる季節によつて又衿ぐりの形・



衿の形によつて大きさま並に形を變へてまゐります。

形の上からは普通圓型の外にV型・角型・ボート型等があります。

ボート型



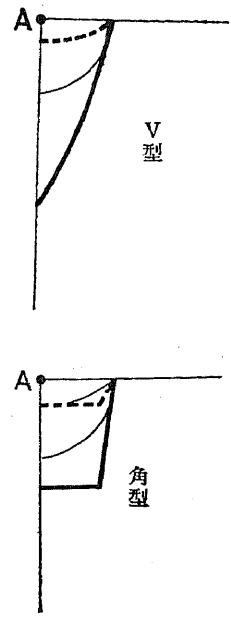
す。

V型

後は原型のままにし前は圖のやうに下の方へくり下げます。多くても胸圍線より下らぬやうにします。

角型

前衿ぐり横へは原型通りの大きさにし、縦へは原型より二センチ内外下げ、下の方が七耗乃至一程狭くなるやうにあります。



ボート型

前後とも縦は原型のままとして横に二種内外大きくくり

ます。時には前の方だけ一纏程くり下げてもよいと思ひます。

何れにしても左右を考へて形よく裁つこみが大切です。衿

ぐりの形は顔の形によつて考へねばならぬが、幼児用としては圓型

が最も普通であり之が可愛らしい

と思ひます。

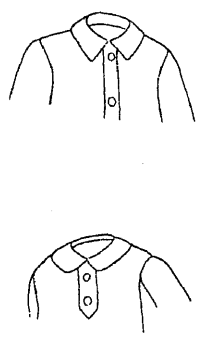
V型は幾分大人らしい感じが致します。なほ特別に後、

又は前をあげないで着たり脱いだりする場合には頭が入る

だけにあける必要があります。小さい子供は割に頭が大きいから、澤山あけなければなりません。衿ぐりをあまりに多くあけることは子供には見苦しいから、矢張り後か前或は肩をあげるのがよいと思ひます。

衿

子供は割合に頸が短いから衿をつけないこさも往々あります。殊に夏物には衿をつけないで衿ぐりを少し大きい目にあけたのが衛生上よいかと思ひます。冬物にしても上に毛絲編のスクーターを着せるならば下のブラウス或はドレスには衿を附けないのがよいやうです。もし衿をつけるならば其衿は後の方がなるべく立たないで衿附の際から折返るのがよいと思ひます。圖に示すやうに圓型の衿は至つて



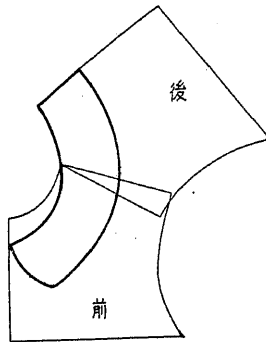
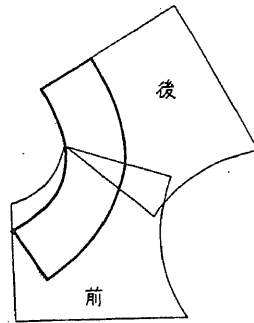
平凡ではあるがこれが最も子供らしくて誰にでもよい形です。

衿を裁つ前に先づ

衿の形によつて身頃の衿ぐりを定めます。前の衿ぐりは原

型より二種内外下げます。

圓型の衿を裁つには次の圖解のやうに袖附の方で前後の肩を重ね、衿附の方は突合せにしておいて衿幅を適宜に定め衿の型を取ります。衿幅は普通五種から七種に致しますが後の方を広くしても前の方を広くしても或は衿の先を角たてても、まるくしてもそれは隨意です。



肩先の方を澤山重ねれば衿の周圍が短くなるから後が立つやうになりますが小さい子供の衿はなるべく附け際から折返るやうにしたいのであります。しかし肩の重ねが少な過ぎるに衿の周圍が長くなつてもち上るやうになります。

幼児服の特徴

一月號にも概略は記しておきましたがなほ今少し具體的

に申しませう。幼児服は幼児の身體を保護するのみでなく幼児の生活から考へるに一時もぢつとして居られないのですから動作の妨げにならぬ服装でありたいのです。即ち此點から考へるに地質は伸縮の比較的自由な物が適當であります。毛絲編の物、メリヤス、チャーターの如きは此の特徴をもつてゐる良好な物であります。

形としてはなるべく單純なもので殊に不斷着なごはあまり裝飾を施さず動作に便利なやうに考へてほしいのであります。それ故洋服の丈も比較的短く丁度身長約12乃至 $\frac{5.5}{10}$ 位即ち膝のあたりまでを限度に致します。しかし子供の成長は著しいものでありますから一年も立てばすぐ短くなり時には何の手入もしないで長く着せる爲に或は作法上衛生上如何はしく思はれる事もあるのであります。

又子供服としては比較的幅のゆつくりしたのが可愛らしくもあり動作にも便利であるがあまり度が過ぎては袋を着たやうに見苦しいのであります。又スカートの裾の幅は適

當に廣くなければ運動動作に不便であります。さりてあまり廣すぎるのは布が不經濟でもあるし、又布地によつては可なり重さを感じるのであります。

袖はキモノスリーブにしてもラグランスリーブにしても或は別袖にしても自由であります。常に子供の生活から考へて動作に便利なやう袖山も不斷着ならば高きに過ぎないやうに注意すべきであります。

襟についても婦人服のやうに變つたもの變つたもの考へる必要はありません。前にも申しましたやうに平凡ではあるが圓型の襟が子供物には最も似合はしいものであります。又比較的頸が短いのであるから後の方が立つて居ては工合が悪いのであります。

又子供は服裝に頓着なく遊びに夢中になりよく汚すものでありますから始終洗濯をして糊をつけるものはつけてアイロンをかけ常に清潔に保つべきであります。

之を要するに子供の服裝は子供の生活それ自體から考へて地質を選び形を考案し裁縫し整理手入をしてほしいのであります。

本誌二月號所載、及川氏の人形花子さんの、おへべみお羽織の印刷も出来て居ります。ラシヤ紙のクリーム色の地です。着物一枚ぶり、羽織一枚ぶり各一錢五厘でございます。

○申込所 東京市小石川區大塚町三五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會

○五十枚以上

○代金前拂のこみ

猶ほ、人形花子さんの型紙も追加印刷が出来て居ります。之は百枚(五〇人前)以上お申込みのこと、代金前拂のこと、一人前二錢のこと等前號掲載の通り、